

閑日漫言

時と處を得れば大概の人物は仕事が出来るものだ、どちらかと云ふと其人自身の仕事が出来ると云ふより、側が必要により其人物を中意として出来ると云ふ方が多いだらう、畢竟機械的に側が利用する事になる。

▼▲

得意の時代は輿論に抗ひて進んでも世間は之れを或程度まで容認する是認する力がない、要するに制裁する力があるから制裁するものである處が失意の時代は黙認すべき性質のものも一分の反對があると怒り輿論となり安んずく觀察すると結論が如何なる人、氣は或程度まで世間を盲目にして眞の批評は其人失意の時代に價を知る事になる。内容ある人物は常識が勝ち過ぎ自己宣傳が乏しく生嚼ちりの上滑すべりの人物はど押しが強い。

▲▲

高校の禽は注目の焦点となり三級の浪高として魚籠に化す。

▲▲

作が當たると政府は米の買ひ上げをして價の調節を計する。つまり價のつり上げをするのだ、不作だと拂ひ下けて價を安くする、いや小民に限る然し買ひ上げは地主よりするのだ、此處に一寸と矛盾が生ずるではないか之れと反對に魚籠がある

宮津醫院

小名濱町西町

齒科 一般 外科 內科
小松齒科醫院

小名濱町名盛館下

三井吳服店

より
平三・電三八

友柴田書店

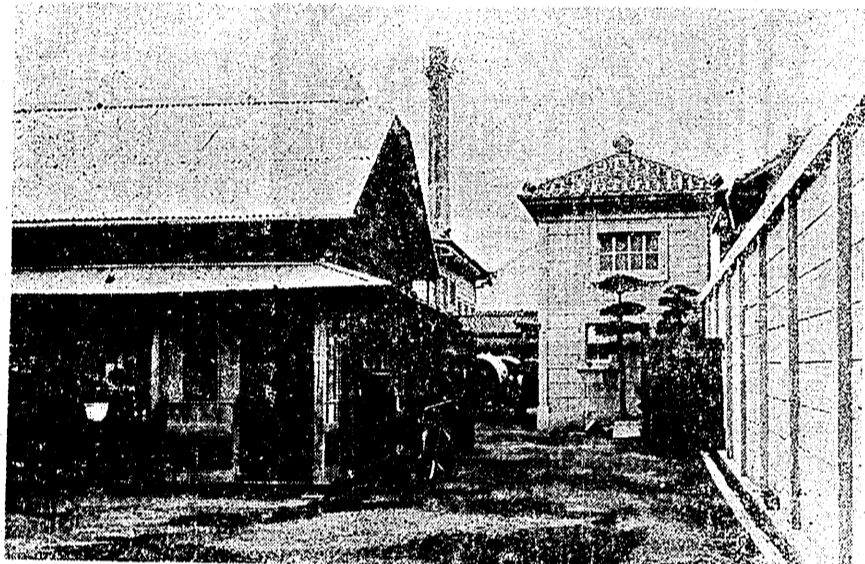
平町四丁目
電話二三四番

良品廉賣に勝る商略なし

磐城セメント

和洋銅鐵
金物問屋
釜屋商店

東京振替貯金口座一〇九五六番
電話九番九九番
磐城平町五丁目



清世界 釀造元
清水正宗
清水屋本店
小名濱町中通 電話六番

平川醫院

江名町 電話二六番

磐城水産工業株式會社

社長 小野晋平
支配人 福尾伊太郎
小名濱町 電話六六番

佐瀨醫院

新登醫學士 佐瀨恒夫
小名濱町中島 電話一三五番

寶屋商店

藥品・高名賣藥
化粧品・小間物類
小名濱町米野 電話三九番

名湯

神經系統—胃腸に靈妙
玉川村大字大原
小瀧鑛泉 瀧の湯



美人のサーブイス・小名濱町中島通
自信アル御料理・電話四七番

クラキーエフカ

中村醫院

内科・外科
花柳病科・小兒科
レントゲン科開設
病室の設備あり
小名濱町 電話十八番

上田科外醫院

外科専門
レントゲン科
病室の設備入院應需
信用と堅實なる
無盡の御契約は
湯本信用無盡株式會社
平町南町 電話二二九番

湯本信用無盡株式會社

湯本町三番 電話四七番

圖書・出版・雜誌

一册五錢 十錢の均一のものより

大衆向書籍

讀書家の便法もあり

新古書籍高く買入

小名川橋畔
布袋屋書店